一人一人が備えてこ！防災力UP！鳥羽 vol.9

総務課防災危機管理室 ☎㉕1118

防災NEWS★ 防災功労者内閣総理大臣表彰 受賞！ 子育て応援!!0・1・2・3サークル

平成17年から、女性として、何よりも幼少の子どもがいる母親としての立場から、「家庭の防災力向上」を目標に、防災教室を始めました。卵の殻踏みで災害時に散乱したものを踏む感覚を体験したり、身を守る「ダンゴ虫ポーズ」の練習、新聞紙を使ったスリッパの作成や毛布での担架作り、防災紙芝居や防災カルタなどを実施し、誰でも楽しく学べる教室を行っています。

子育て支援センターでの講座の様子

子育てサークルが防災活動を行っているのは珍しく、県内にとどまらず県外からも要請があり、年間30回を超える出張防災教室を実施しています。

こういった地道な活動が評価され、平成25年9月に「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

団体代表の山本道子さんは、「小学校・保育所・幼稚園・町内会・子育て支援センター・子育てサークル・障害者施設・老人会・デイサービス・放課後子ども教室・放課後児童クラブなど、呼ばれればどこへでも飛んでいきます」と意気込んでいます。大人も子どもも、防災について難しく考えることなく、身近なものとして日々取り組んでいくきっかけとなるような楽しい防災教室です。

受賞楯を手にするサークルのメンバー

団体プロフィール

発足 平成12年

構成員 子どもを持つ母親によるボランティア

概要 0～3歳の子どもとその保護者を対象とし、子育て支援を目的に親子の遊び場を提供

イコールパートナーシップ Vol.113

豆まき

市民課人権・生活係 ☎㉕1126

「鬼は～そと！福はうち!!」2月3日は「節分」です。「節分」と言えば、豆まき、恵方巻ですね。

節分はもともと中国から伝えられた習俗で、春を迎えるにあたって邪気や災難を払い、新しい年の福善を願うものと言われています。また、豆まきは、年男(その年の干支の生まれの男性)または、一家の主人が「福は内、鬼は外」といいながら煎った大豆をまき、自分の年の数だけ豆を食べると1年病気にならない、という言い伝えのある行事です。

さてその「豆まき」ですが、みなさんの家庭では、誰が「鬼」の役目をされるでしょうか？おそらく、先ほどの「年男」のいわれにあるように、女性が「鬼」の役目をすることは少なく、男性がその役目を担っている家庭が多いのではないでしょうか。お父さん・おじいちゃんは外へ出て鬼を演じ、最近では、お母さん・おばあちゃんが恵方巻を作る。

昔からの言い伝えを守っていくことも大切ですが言い伝えに捉われすぎず、その家庭のやりかたで行う豆まきがあっても良いのではないかと思います。そこで、1月26日には節分にちなみ、「子どもと一緒に♪パパ・じいじのお料理教室～恵方巻に挑戦しよう～」を開催しました。いつも鬼の役目のパパ・じいじがお子さん・お孫さんと一緒に恵方巻を作ることで、男性の子育てへの関心や、家事参画のきっかけを作ろう、という企画でした。当日は鬼の飾り巻を作るなど、楽しいひとときとなりました。

男性も女性も性別に捉われず、互いを認め合い、支え合っていく男女共同参画社会も春の訪れにあわせ、どんどん芽を出しています。